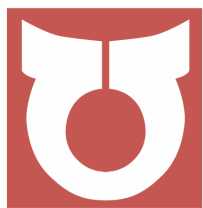




# 日高村における水害に強いまちづくり ～日高村 流域治水・まちづくり計画～

高知県日高村  
令和7年1月8日（水）

# 日高村の概要



歴史とメダカの里

# 日高村

- ◆日高村は、人口約4,800人の村です。
- ◆令和6年10月に、村制施行70周年を迎えました。



もへいくん  
© くさか里樹



# 日高村の概要

## ・村の主要産業

主な産業は農業で、特産品として高糖度トマトのブランド「シュガートマト」・栽培面積 中四国最大級の「霧山茶」、生姜等の生産が行われております。



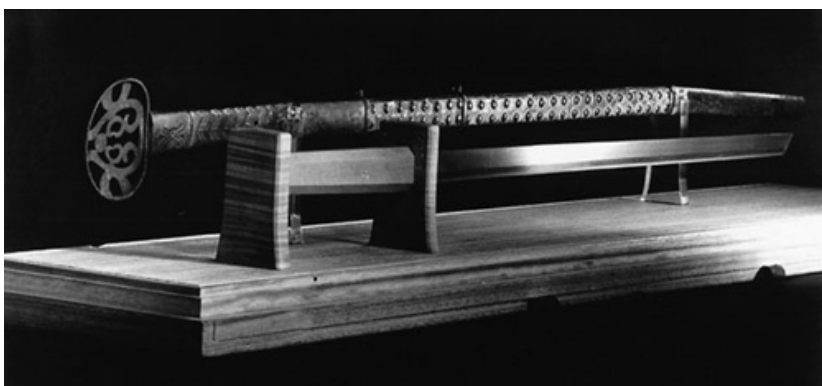
摘みたてのシュガートマト



観光面では、奇跡の清流仁淀川(仁淀ブルー)を遊覧する「屋形船仁淀川」をはじめ、特産のシュガートマトを使った「オムライス街道」、国宝金銅荘環頭大刀拵をまつる小村神社などがあります。



霧山茶園



金銅荘環頭大刀拵・大刀身  
(こんどうそうかんとうのたちこしらえ・たちみ)



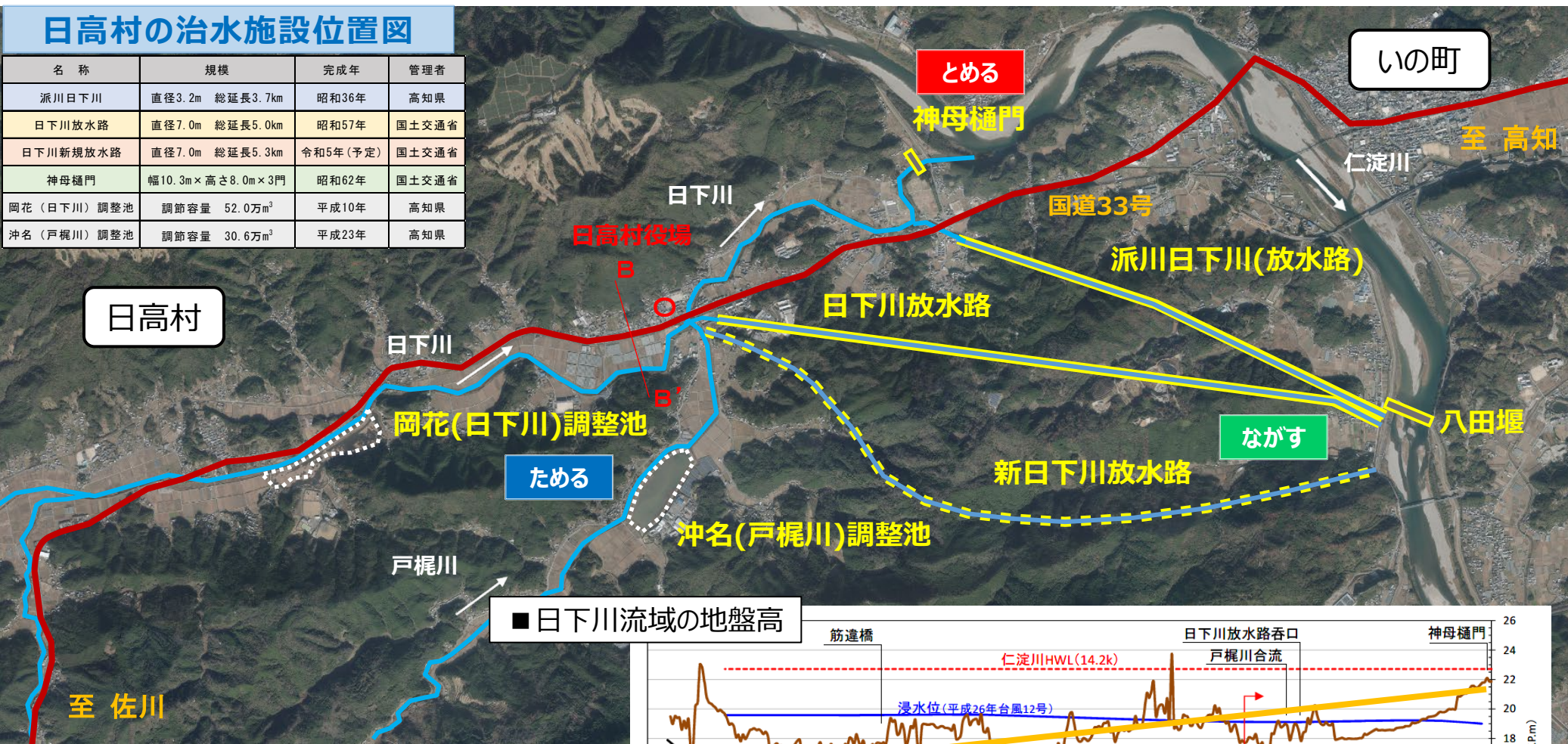
奇跡の清流仁淀川を遊覧する  
屋形船仁淀川

# 日高村における治水施設の概要と日下川流域の特徴

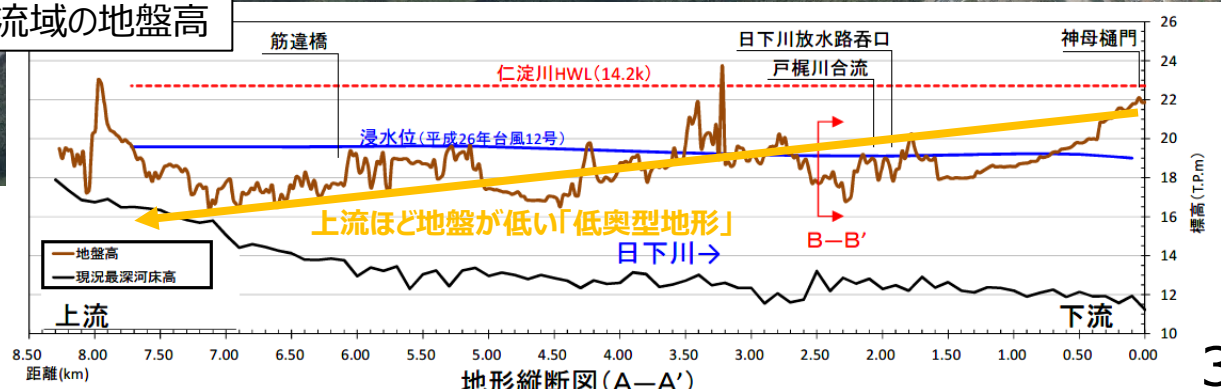
- ・内水対策として逆流防止樋門や、2本の放水トンネルを整備
- ・H26年8月に発生した台風第12号、第11号の浸水被害を契機に、3本目となる放水路トンネルを整備

## 日高村の治水施設位置図

名称	規模	完成年	管理者
派川日下川	直径3.2m 総延長3.7km	昭和36年	高知県
日下川放水路	直径7.0m 総延長5.0km	昭和57年	国土交通省
日下川新規放水路	直径7.0m 総延長5.3km	令和5年(予定)	国土交通省
神母樋門	幅10.3m×高さ8.0m×3門	昭和62年	国土交通省
岡花(日下川)調整池	調節容量 52.0万m <sup>3</sup>	平成10年	高知県
沖名(戸梶川)調整池	調節容量 30.6万m <sup>3</sup>	平成23年	高知県

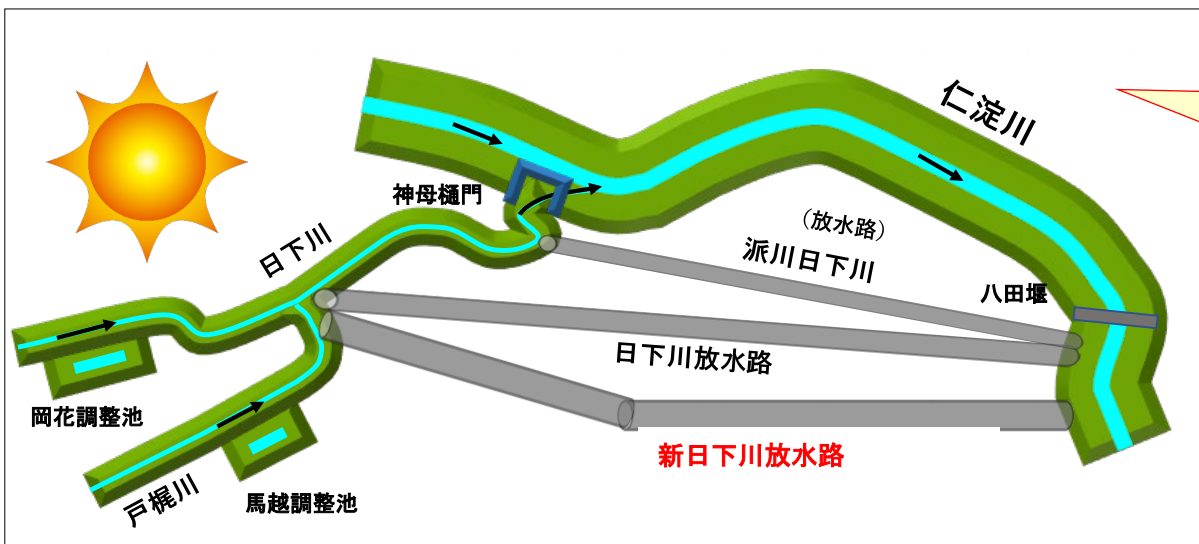


■ 日下川流域の地盤高



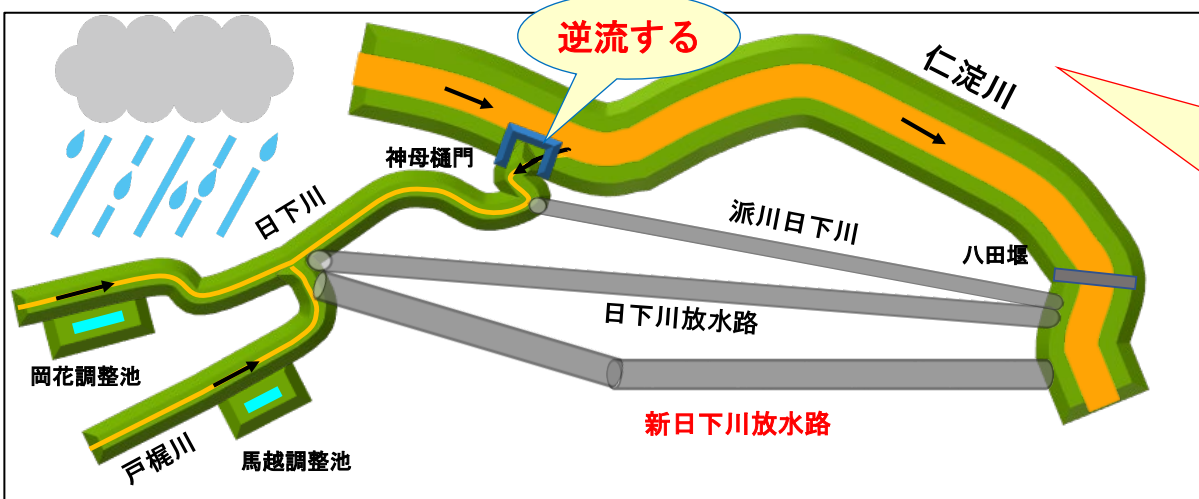
# 日高村における治水施設の概要と日下川流域の特徴

## 普段の流れ



日下川の水は  
**神母樋門**から  
仁淀川に流れ  
ます。

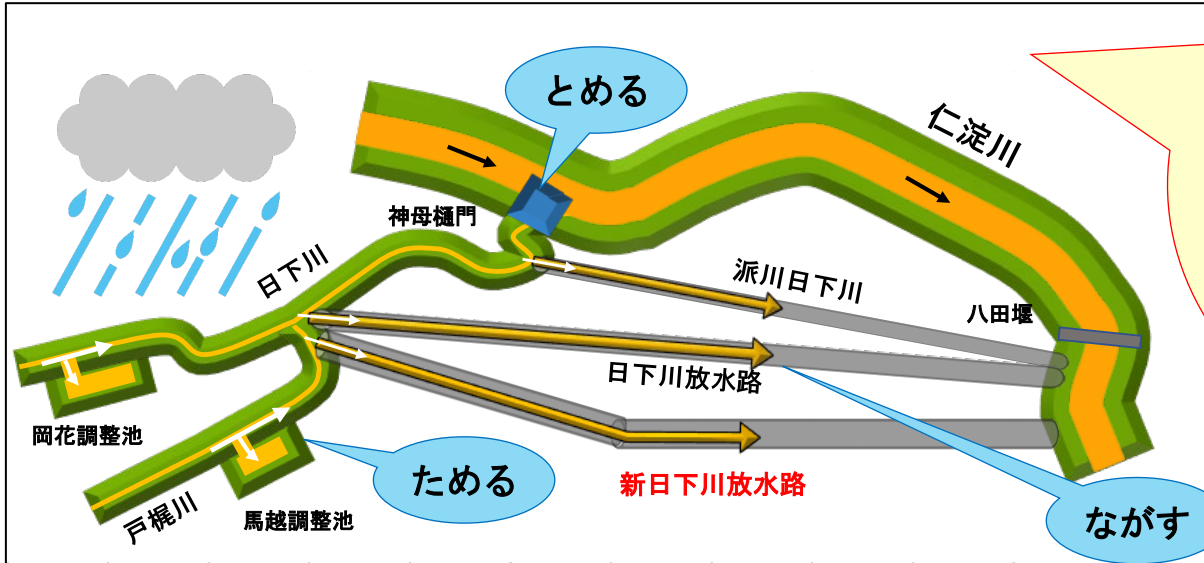
## 洪水時の流れ（仁淀川からの逆流）



大雨が降り仁淀川  
の水位が上昇する  
と、仁淀川の水は  
**神母樋門**から日下  
川に逆流してきま  
す。

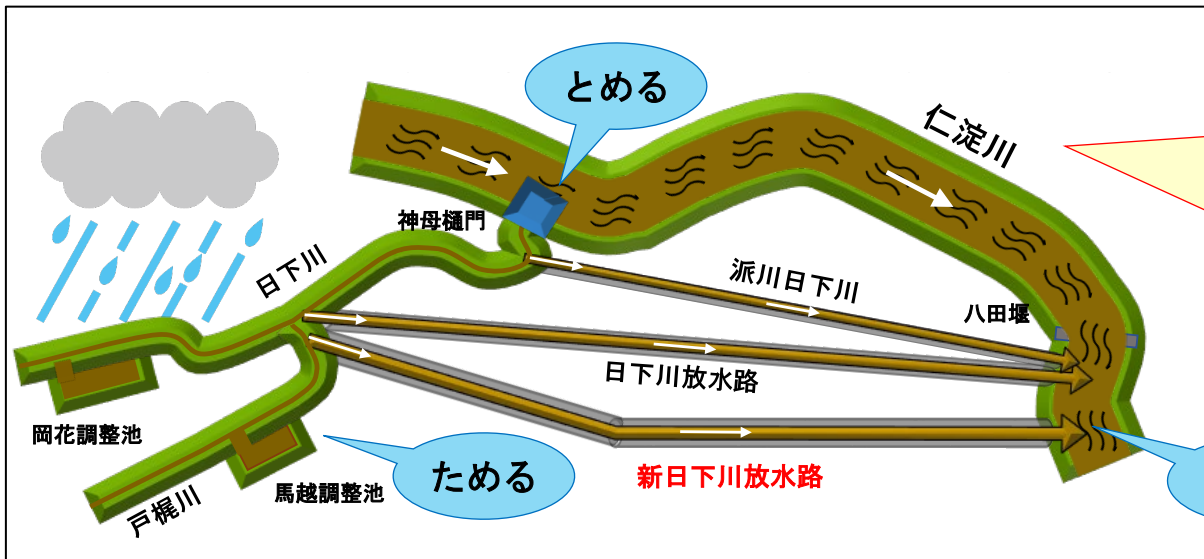
# 日高村における治水施設の概要と日下川流域の特徴

## 洪水時の流れ（とめる・ためる・ながす）



仁淀川の水が逆流しだすと

- ① **神母樋門**を閉めて仁淀川からの逆流を**とめる**
- ② **調整池**に水を**ためる**
- ③ **放水路**から水を**ながす**ことで日下川の水位を下げます。



大きな洪水の時には、**調整池**は満杯になりますが、日下川の水は**放水路**から**排水**されます。

# 日高村の水害の歴史（昭和50年台風第5号による浸水被害）



ほんごう  
日高村本郷地区



おかばな  
日高村岡花地区



日高村役場



いわめじ  
日高村岩目地地区

## 日下川流域の被害

浸水家屋

床上：659戸  
(うち軒下384戸)

床下：121戸

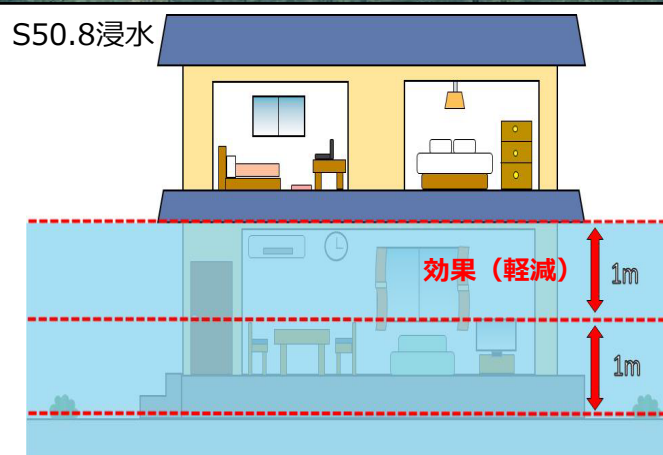
浸水面積：545ha

# 日高村の水害の歴史（昭和50年台風第5号による浸水被害）

この災害を契機に「日下川放水路」が整備される。



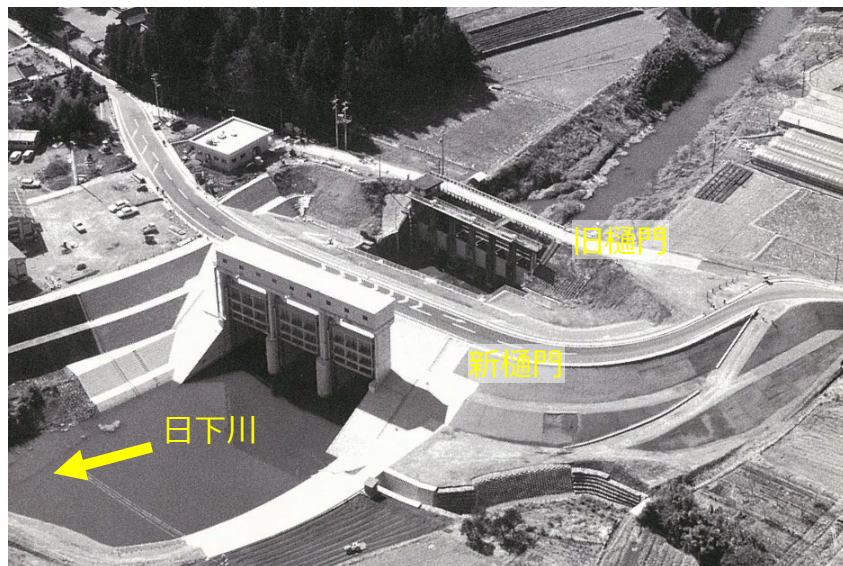
昭和50年 台風5号 被害項目	被害
連続雨量	592mm
浸水面積	545ha
床上浸水	659戸
死者行方不明者	25名



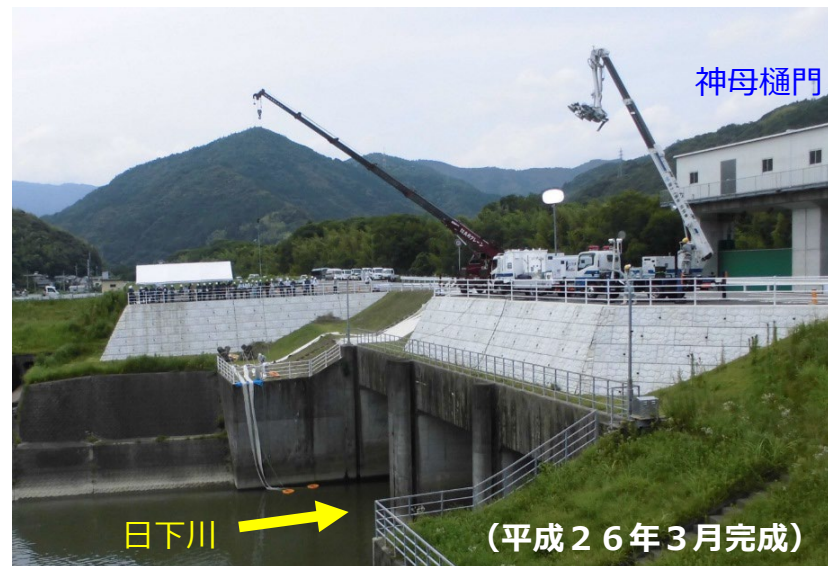


# 平成26年8月台風第12号による浸水被害

- ◆当時の建設省においては、昭和61年に神母（いげ）樋門の改築が完了しました。
- ◆高知県においても、岡花調整池が平成10年に、馬越調整池が平成23年に完成しました。



神母樋門（日下川）〈国交省〉



神母樋門の排水ポンプ車配置ヤード〈国交省〉



岡花調整池（日下川）〈高知県〉



馬越調整池（戸梶川）〈高知県〉

# 平成26年8月台風第12号による浸水被害



## ■ 日高村における浸水被害の状況

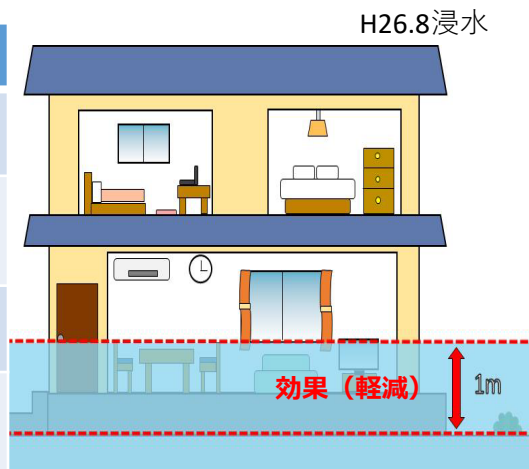
浸水面積	274.4ha
浸水家屋	159 戸 (床上109 戸、床下50 戸)
交通障害	国道33号 : 約18 時間 通行止め JR 土讃線 : 約70 時間 運休

# 平成26年8月台風第12号による浸水被害と日下川放水路の効果

連続雨量は昭和50年台風5号より多いが被害がケタ違いに軽減される。



被害項目	昭和50年災 (放水路完成前)	平成26年災 (放水路完成後)	比較
連続雨量	592mm	690mm	98mm増 (+16%増)
浸水面積	545ha	274ha	271ha減 (-50%減)
床上浸水	659戸	109戸	550戸減 (-83%減)
死者行方不明者	25名	0名	25名減 (-100%減)



# 床上浸水対策特別緊急事業

- 平成26年8月台風12号と同規模の豪雨に対して床上浸水を防止するため、H27年度、床上浸水対策特別緊急事業を採択・着手。
- 国は新日下放水路の建設、県は日下川・戸梶川の改修、村は輪中堤の建設と条例の制定に取り組むことで、国、県、村が連携し、ハード対策・ソフト対策を一体的に推進。



**A** 国による3本目となる放水路の建設

**B** 県による日下川・戸梶川の改修

**C** 村による輪中堤の建設(擁壁の新設・嵩上げ)

**C** 日高村水害に強いまちづくり条例(令和3年3月制定)



- ① 居室の床高を規制  
平成26年洪水と同規模の洪水が発生しても床上浸水とならないように、**災害危険区域**を設定
- ② 雨水の貯留・浸透機能の保全
- ③ 洪水の遊水機能を保全 ←

令和3年4月に改正された特定都市河川浸水被害対策法の改正内容と同様の趣旨を条例でできる範囲で規定

平成26年洪水と同等規模の洪水が発生しても床上浸水被害を出さないよう、国土交通省・高知県・日高村で役割分担

# 床上浸水対策特別緊急事業

「国土強靱化」などの対策の効果が明らかになっている。

平成26年8月台風12号規模

平成26年8月3日～4日 連続雨量 690mm

新日下川放水路の効果で、  
「床上浸水 0戸」

3本目の放水路 完成!!

施設名	治水施設の状況
派川日下川放水路	整備済
日下川放水路	整備済
新日下川放水路	整備済

S38県整備：派川日下川

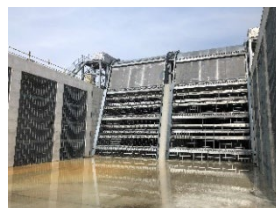
S57国整備：日下川放水路

令和6年3月完成：新日下川放水路などを考慮

R5国整備  
新日下川放水路



対策の効果



床上浸水解消  
H26年8月台風12号と同規模の洪水に対して床上浸水を解消



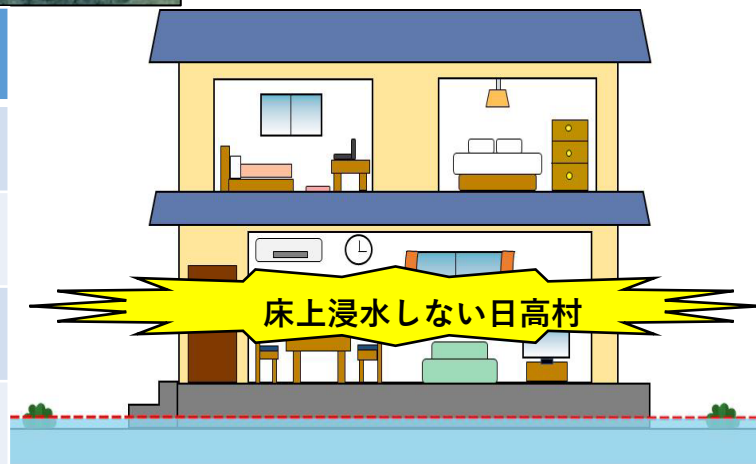
109戸

0戸

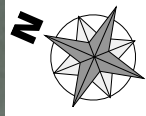
対策前

対策後

被害項目	平成26年災 (新日下川放水路完成前)	平成26年災規模 (新日下川放水路完成後)	比較
連続雨量	690mm	690mm	同規模
浸水面積	274.4ha	250ha	24.4ha減 (-8.8%)
床上浸水	109戸	0戸	109戸減 (-100%)
死者行方不明者	0名	0名	



# 床上浸水対策特別緊急事業(輪中堤の建設)



平成26年8月台風第12号浸水状況



洪水防止壁

止水壁



水中ポンプ (内水対策)



ポンプピット  
B1.5m×L2.0m  
吐出量 0.25 m<sup>3</sup>/s  
ポンプ口径φ250×15kw×2台

ハット型鋼矢板



L型擁壁



# 床上浸水対策特別緊急事業(輪中堤の建設)



# 祝「新日下川放水路」完成 ～日下川床上浸水対策特別緊急事業完了～



巨大な水のトンネルは、  
未来へのトビラ。



令和6年4月21日開催



もち投げ  
村内外から約3,000人が集う！  
2万個以上の祝い餅や芋けんぴなどが乱舞！





# 日高村水害に強いまちづくり条例(土地利用規制)

平成26年8月台風第12号実績規模

新日下川放水路建設後の実績降雨による浸水範囲



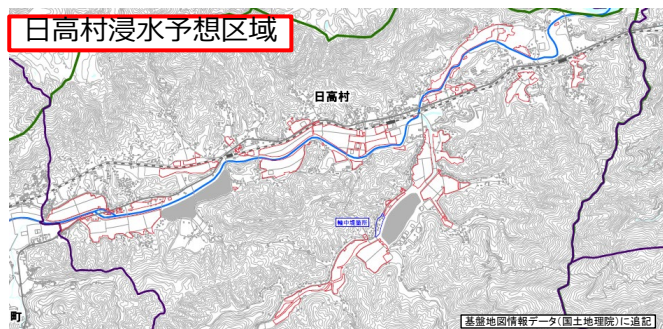
※神母樋門・派川日下川・日下川放水路・岡花調整池・馬越調整池・新日下川放水路 を考慮

# 日高村水害に強いまちづくり条例(土地利用規制)

## ■ 浸水被害の解消を図り、安全・安心なまちづくりを推進するための条例を制定 (令和5年1月施行)

日高村では3本目の放水路トンネルが完成する一方、こういった施設に守られることで、浸水しないといった甘い考えからの無秩序な開発の恐れがあるため条例を制定

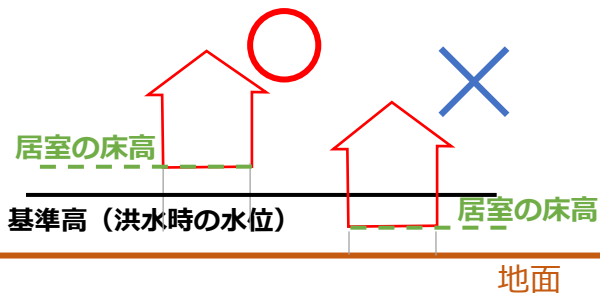
- ・ 「日高村浸水予想区域」の指定 ※平成26年台風第12号と同規模の降雨が発生したときに浸水が想定される区域
- ・ 居室の床高規制
- ・ 氾濫水の貯留や雨水の浸透を阻害する「盛土・開発・舗装など」の行為の届出、対策の実施



### 「床高の規制」

#### 床高規制 (許可制)

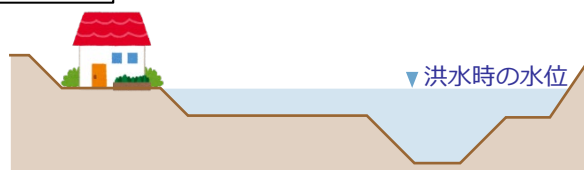
浸水予想区域内で新たに建築物を新築・増築するときは居室の床高を浸水しない高さ(基準高)とする



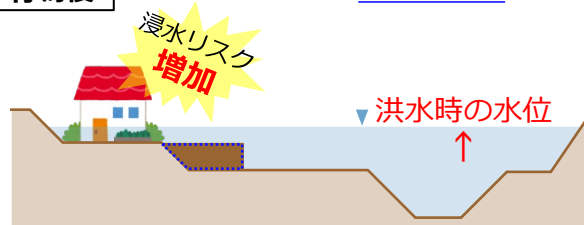
### 「貯留機能の保全」

浸水予想区域内で1,000㎡以上の盛土等の氾濫水の貯留機能を阻害する行為を行うときは届出するとともに、対策の計画書を提出

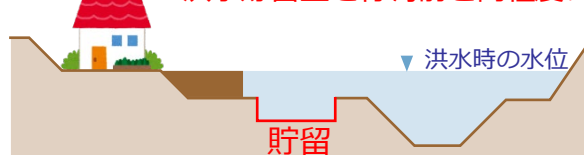
#### 行為前



行為後 盛土等によって、洪水貯留量が減少



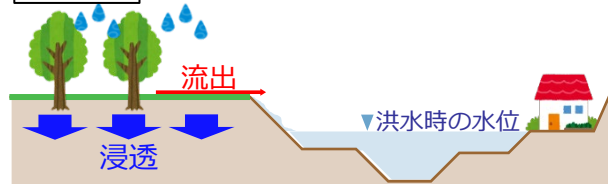
対策工事後 洪水貯留施設を設置することで、洪水貯留量を行為前と同程度に



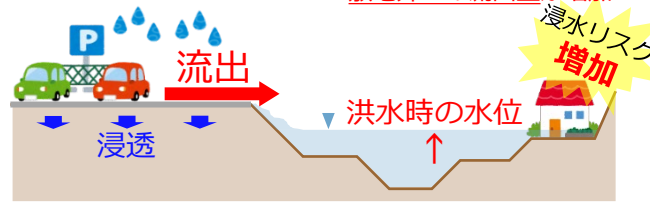
### 「浸透機能の保全」

日下川流域内で1,000㎡以上の舗装等の雨水の浸透機能を阻害する行為を行うときは届出するとともに、対策の計画書を提出

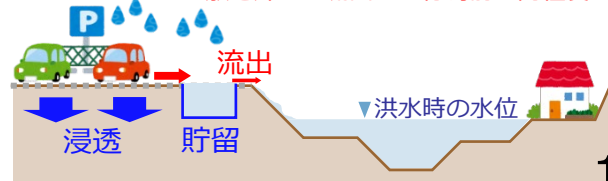
#### 行為前



行為後 舗装等によって、地中への浸透量が減少し敷地外への流出量が増加



対策工事後 雨水の貯留・浸透施設を設置することで、敷地外への流出量を行為前と同程度に



# 日高村水害に強いまちづくり条例(土地利用規制)

## 【説明会参加者の声】

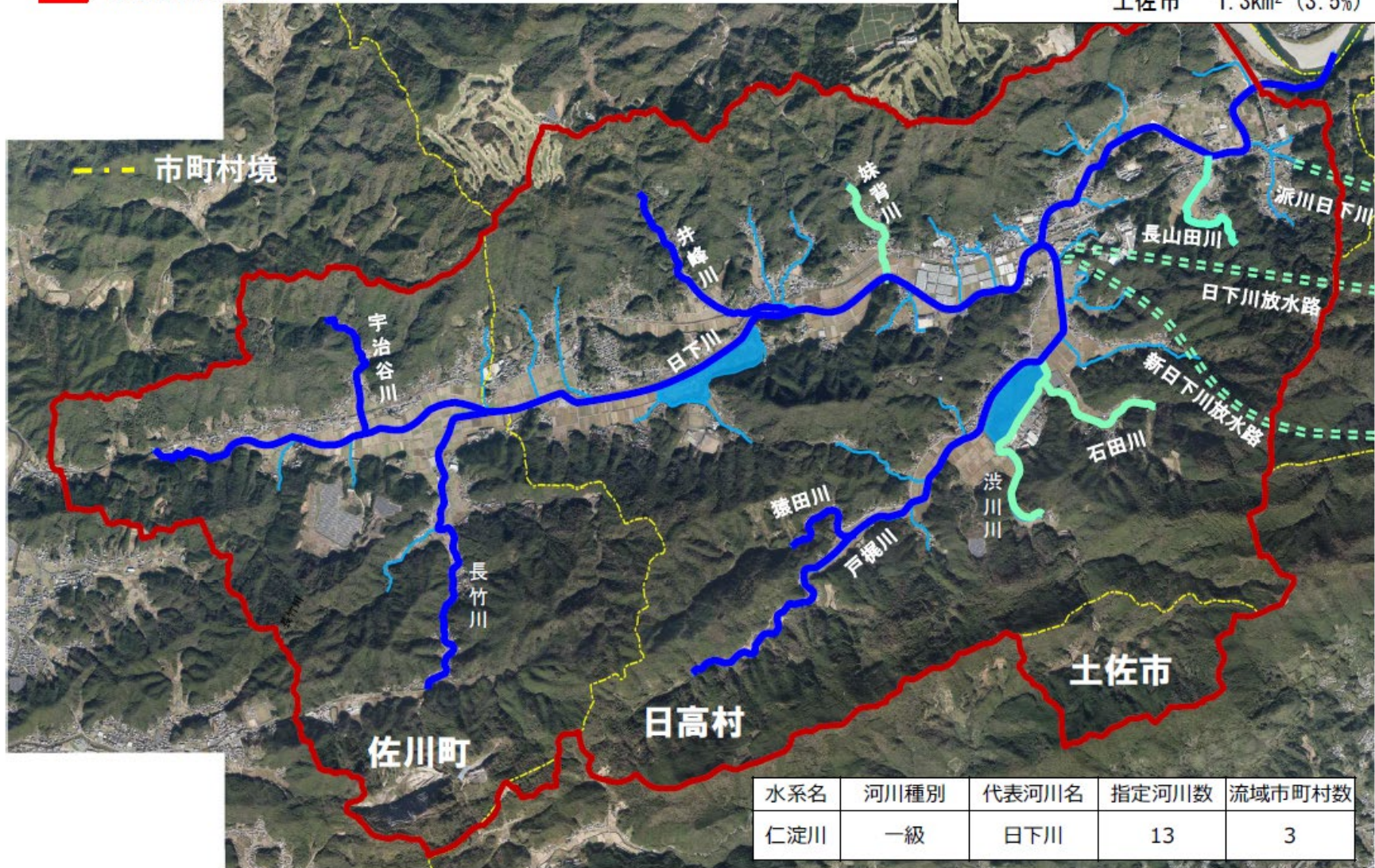
- ・ 農地を持っている方から、浸水想定区域内の田んぼを埋め立てて畑にしようとして計画していたのにも関わらず、こういった規制をするのは非常に反対だ。自己責任でこういう対策はするべきであり、個人の農地を活かそうとしているのに、規制をかけることについては、大反対だ！！
- ・ 区域内で損をするのは地権者だということなので、あらゆる事を前提にして対策をしていくべきだ。
- ・ 新たな第3の放水路トンネルができるのにまだ浸水するのか。
- ・ 1,000m<sup>2</sup>以下の小さい農地を嵩上げする場合、義務とは言え対応してくれる地権者の方はいらっしゃるので、その方達に対しての何らかの支援とか良い対策はないか。

# 日高村水害に強いまちづくり条例(土地利用規制)

## ★特定都市河川 日下川流域(令和6年12月3日指定)

- 特定都市河川に指定する河川 (R5.8月浸水想定区域公表済み)
- 特定都市河川に指定する河川 (指定後早期に浸水想定区域を公表予定)
- 特定都市河川流域

特定都市河川流域	37.7km <sup>2</sup>
うち 日高村	25.5km <sup>2</sup> (67.6%)
佐川町	10.9km <sup>2</sup> (28.9%)
土佐市	1.3km <sup>2</sup> (3.5%)



水系名	河川種別	代表河川名	指定河川数	流域市町村数
仁淀川	一級	日下川	13	3

# 日高村水害に強いまちづくり条例(土地利用規制)

## 特定都市河川指定後の規制内容 (日高村)

		特定都市河川法	日高村水害に強いまちづくり条例
床高規制	規制内容	・住宅、要配慮者施設等を新たに建築する場合、 床高を基準水位以上とする	・新たに建築する場合、居室の床高を基準高 以上とする(建築基準法第39条)
	対象範囲	浸水被害防止区域	浸水想定区域 (災害危険区域に指定)
	行政処置	許可	<b>許可、建築確認(県より委任)</b>
貯留阻害行為の届出	規制内容	・盛土、塀の設置等行為の届出 ・保全調整池の埋立て等の届出 ・対策工事の実施(努力義務)	・1000m <sup>2</sup> 以上の盛土、埋立て等の計画書届出 ・対策工事の実施(努力義務)
	対象範囲	・貯留機能保全区域 (土地所有者の同意を得た上で指定) ・保全調整池 (流域内で100m <sup>3</sup> 以上の容量を有する防災 調整池から予め指定)	日下川流域全体(土佐市・佐川町除く)
	行政処置	助言・勧告	助言・勧告
浸透阻害行為の届出	規制内容	・1000m <sup>2</sup> 以上の土地の形質変更、 舗装等の申請書届出 ・対策工事の実施	・1000m <sup>2</sup> 以上の土地の形質変更、 舗装等の計画書届出 ・対策工事の実施(努力義務)
	対象範囲	日下川流域全体	日下川流域全体(土佐市・佐川町除く)
	行政処置	許可	<b>助言・勧告</b>

- ・特定都市河川指定後、法規制となるのは「雨水浸透阻害行為」のみ
- ・床高、貯留阻害行為は日高村条例で規制する

# 日高村流域治水まちづくり計画

## 規制をすることによる課題の整理

規制だけでは、「まちづくり」は進まないのでは？

### 懸念事項（例）

#### ・日高村浸水予想区域内・外での開発事例

区域内開発・区域外開発

#### ・貯留浸透阻害行為に対する対策工事の増加に伴う開発抑制の懸念

対策例：対策工事に対する補助金などの必要性？

#### ・規制のハードルにより、日高村の振興発展への影響

対策例：治水施設自体の価値を高め観光につなげる？（インフラツーリズムなど）

#### ・日高村浸水予想区域内の土地利用方法がない

対策例：高床式太陽光発電などの検討？

#### ・2050ゼロカーボンシティ宣言の中で、「太陽光発電」を中心とした再エネ推進をうたっている、一方、景観など不安視する声がある。

対策例：重点推進区域などの選定の必要性

#### ・日本全体の人口推計が示された中で、日高村の定住人口への影響の懸念

今後10年間の定住人口確保

# 日高村流域治水まちづくり計画

日高村浸水予想区域「内・外」での開発事例から、浮かび上がった懸念

貯留機能保全（調整池設置）

開発面積が限られる。  
安全面を考慮し、住宅地と調整池の高低差は小さくしたい。

浸透機能保全（浸透施設設置）

開発時点から設置すると、家を建てるのに自由な設計ができない。

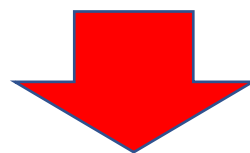
その他（銀行からの融資）

対策工事への費用増加から、利益率が担保されない。  
銀行からの融資が受けにくくなる可能性がある。

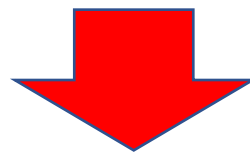
今後、特定都市河川の指定が全国にも広がっていく中で、「規制を行った市町村の開発がなくなり、近隣市町村への開発が流れる」という懸念…

新たな「流域治水まちづくり」の必要性

流域治水の概念だけでは、  
日高村の定住人口増加の妨げとなる可能性。



「流域治水」と「まちづくり」との両輪の考えが必要。




流域治水を軸にした、村全体のまちづくり計画  
「日高村流域治水まちづくり」計画の策定



# 日高村流域治水まちづくり計画

## 基本理念

安全を確保し、生活が息づくまちづくり

 事前防災の観点を取り入れた「日高村・流域治水まちづくり計画」として、「流域治水」と「まちづくり」を一体的に計画する。

## 計画方針


「床上浸水対策特別緊急事業（日下川）」完了

平成26年8月台風第12号と同規模の豪雨に対し、「床上浸水しない日高村」



「日高村・流域治水まちづくり計画」を展開

「流域治水」と「まちづくり」一体的に展開

 床上浸水特別緊急対策後も、平成26年8月台風第12号と同規模の豪雨に対し、まちづくりを展開しながらも、「床上浸水しない日高村」を継続的に維持し続ける

# 日高村流域治水まちづくり計画



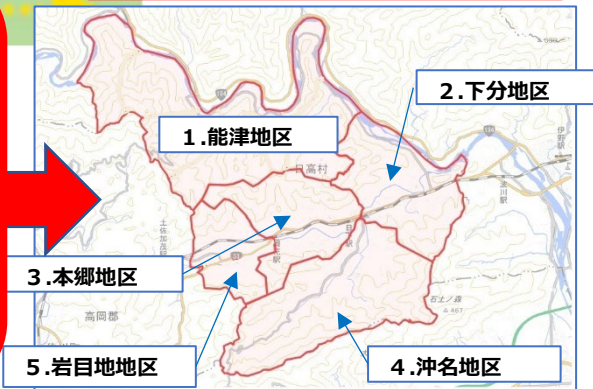
土地利用計画の明確化

「日高村浸水予想区域」



リンクさせる

日高村の「5地区」



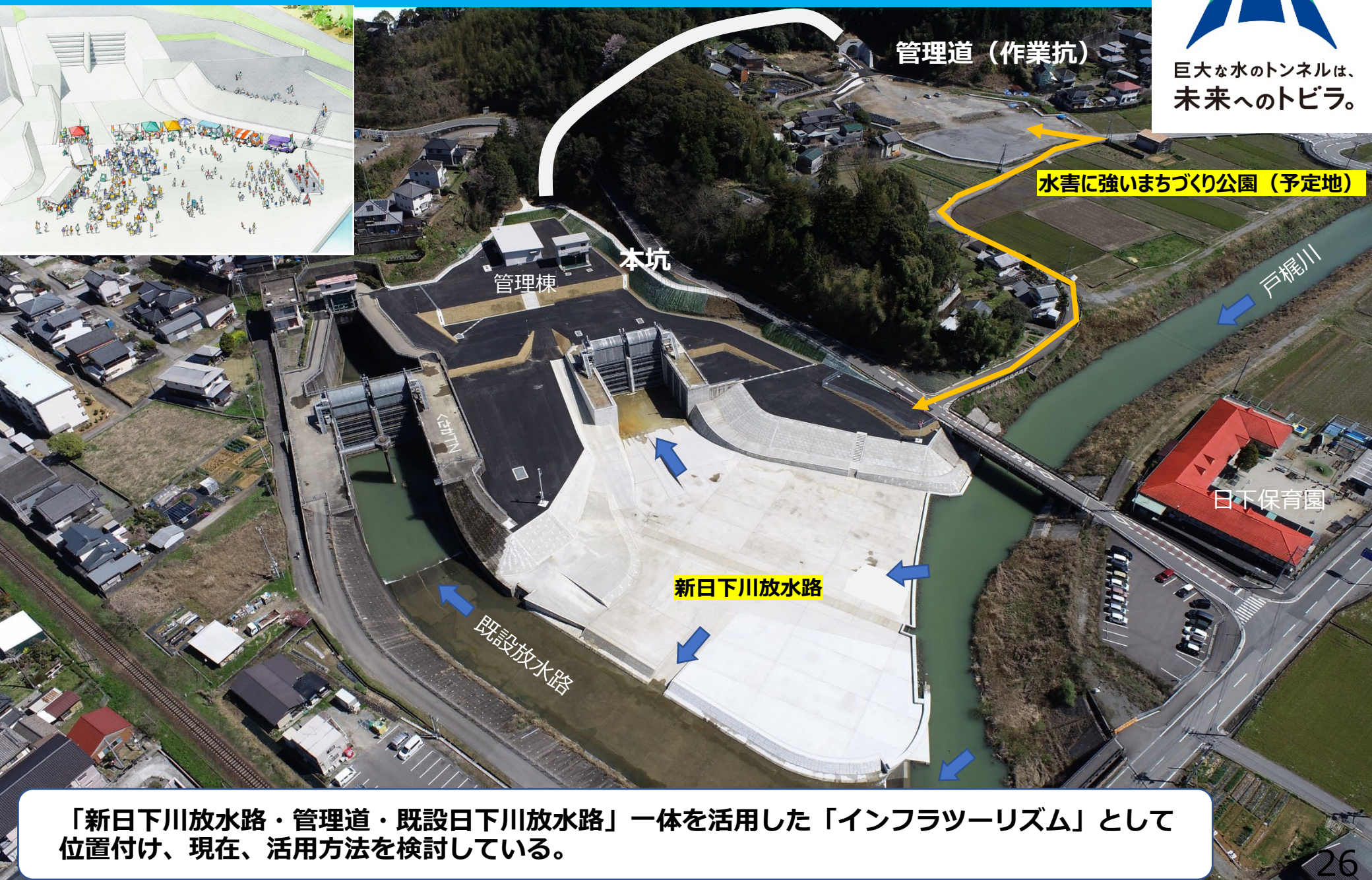
具体的な村の方針 (案)

- |                   |                         |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 宅地開発推奨区域       | 新たな宅地開発は「日高村浸水予想区域外」に誘導 |
| 2. カーボンニュートラル推進区域 | 2050カーボンニュートラルな日高村      |
| 3. トマト産業など推進区域    | 持続可能で幅広い事業展開の可能性        |
| 4. 貯留浸透機能・確保区域    | 積極的な貯留機能候補地             |
| 5. 自然保全区域         | 流域だけでなく継続する日高村を維持する区域   |

# 新日下川放水路を活用したインフラツーリズム



巨大な水のトンネルは、  
未来へのトビラ。



「新日下川放水路・管理道・既設日下川放水路」一体を活用した「インフラツーリズム」として位置付け、現在、活用方法を検討している。



巨大な水のトンネルは、  
未来へのトビラ。

## (仮称) 日高村水害に強いまちづくり公園 イメージ図



# 新日下川放水路を活用したインフラツーリズム

日高村水害に強いまちづくり公園(仮) イメージ図(案)



巨大な水のトンネルは、  
未来へのトビラ。



参考  
R6.12.19時点

# 新日下川放水路を活用したインフラツーリズム

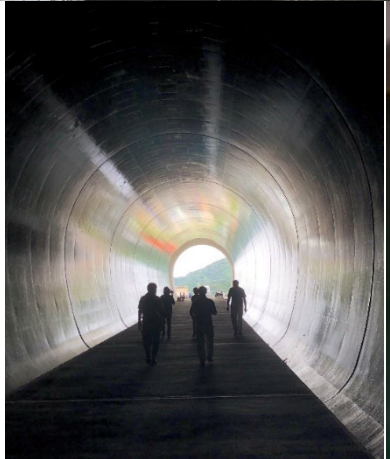


巨大な水のトンネルは、  
未来へのトビラ。



人智を結集して川と共生する暮らしを日下川の威力と土木技術の圧倒的迫力を通して体感する

## 巨大な水のトンネルは、未来へのトビラ。



高付加価値な体験観光プランの検討



巨大な水のトンネルは、  
未来へのトビラ。

ご清聴ありがとうございました